

令和6年度

事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度事業報告

令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、「5類」に移行され、社会経済活動は平常化しつつある。しかし一方で、原材料費やエネルギーコストの高騰等が大きな課題となっており、社会経済全体に大きな影響を及ぼしている。

こうした中、第4次経営計画に基づき、収入の確保及び経費の削減に努めつつ、受診者の視点に立った健康診断・保健指導事業を実施するとともに、啓発事業においては、健康づくり実践活動の支援や疾病予防等の普及啓発等、効果的な情報を発信する等、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体と連携のもと、県民の生涯にわたる健康づくりを積極的に推進した。

1 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご21県民運動」を推進するため、参画団体や健康づくり推進員等と協働し、健康づくりの基盤となる健康チェックの実践、生活習慣の見直し等の健康づくり運動を県内全域で展開した。

また、企業の従業員や家族及び幼稚園等の幼児や保護者への啓発事業を展開し、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

2 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を広く県民に紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報活動を実施した。また、がん・生活習慣病講演会を開催したほか、DVDの貸出し及びポスター掲示やデジタルサイネージ広告によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野における功労者の表彰を行った。

また、がん等の医療に携わる専門職が行う研究を奨励し、医療技術の向上の支援に努めた。

3 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上やリスクマネジメントに努めつつ、県内全域で健診事業・保健指導事業を実施した。

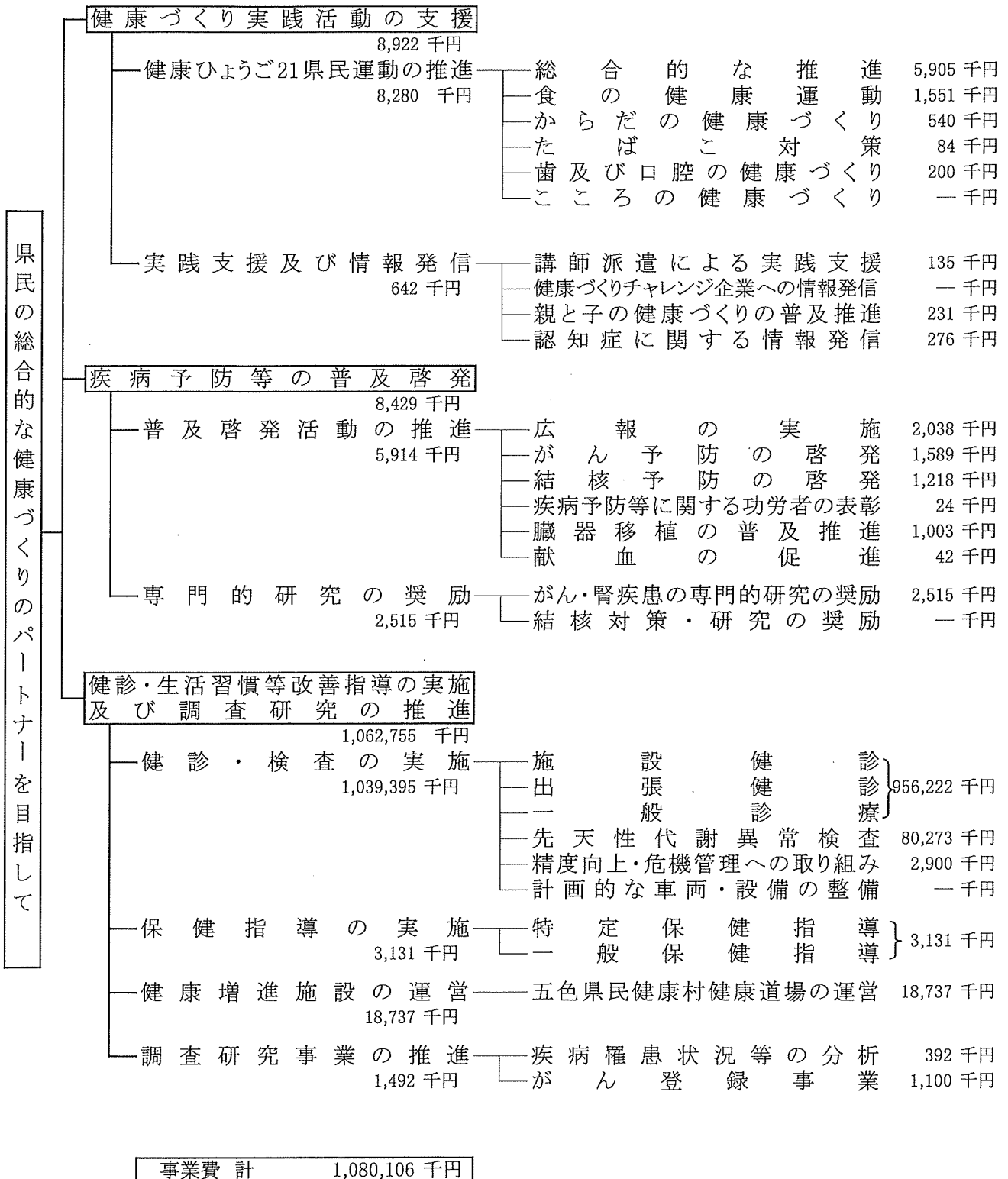
また、五色県民健康村健康道場では、感染防止に努めつつ、県民のこころと身体

の健康づくりを支援する実践施設として事業を実施した。

さらに、県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

令和6年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)



I 健康づくり実践活動の支援

1 健康ひょうご 21 県民運動の推進

(1) 総合的な推進（県補助事業）

① 健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会等の開催

ア 総 会 令和 6 年 5 月（書面開催）

イ 合同会議 令和 7 年 3 月（書面開催）

② 健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムの開催

開催日・場所	内 容	参加 人数
6 月 5 日（水） 神戸市産業 振興センター	・健康づくり等功労者表彰 ・健康体操「みんなで楽しく+10 分（プラス・テン）エクササイズ」 ・講演「こころの健康につながる睡眠について」 講師 滋賀医科大学 精神医学講座 特任教授 角谷 寛 氏	230 人

③ 健康ひょうご 21 県民運動地域会議総会

地 域	開催日・場所	内 容	参加 人数
阪神南	7 月 25 日（木） 尼崎商工会議 所	講演 「身近な依存症（アルコール、市販薬、スマホ、ギャンブル等）～私たちが知っておくべきこと、できること～」 講師 ただしメンタルクリニック院長 田中 禎 氏	83 人
阪神北	7 月 5 日（金） いたみホール	講演 「健康づくりに関する最新情報と健康体操」 講師 健康運動指導士 亀澤 徹郎 氏	64 人
東播磨	7 月 9 日（火） 明石商工会議 所 7 階ホール	講演 「防災と健康～災害時でも普段通りの食事をするために～」 講師 管理栄養士・防災士 濱田 真里 氏	81 人
北播磨	7 月 17 日（水） 加東市地域交 流センター	講演 「大切な家族、地域を災害から守ろう」～今後予想される南海トラフ地震、最近多発する自然災害に備えて、今あなたにできること～ 講師 NPO 法人ひょうご地域防災サポート隊理事長 糟谷 昌俊 氏	120 人
中播磨	7 月 5 日（金） 姫路市医師会 館	講演 「認知症予防を目指して今すべきこと」 講師 神戸大学大学院保健学研究科教授 古和 久朋 氏	89 人
西播磨	7 月 19 日（金） たつの市新宮 ふれあい福祉 会館	講演 「認知症予防を目指して今すべきこと」 講師 神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション領域教授 古和 久朋 氏	131 人
但馬	7 月 18 日（木） 兵庫県立但馬 長寿の郷	講演 「災害時の口腔ケアの重要性～口腔ケアは命を守るケアです～」 講師 医療法人関田会 ときわ病院歯科口腔部長 足立 了平 氏	76 人
丹波	6 月 27 日（木） 丹波篠山市民 センター	講演 「シニア世代の食事と低栄養について」 講師 大阪公立大学大学院 生活科学研究科教授 由田 克士 氏	95 人

淡路	7月11日(木) 洲本総合庁舎	講演 「大切な家族、地域を災害から守ろう ～今後予想される南海トラフ地震、最近多発する自然災害に備えて、今あなたにできること～」 講師 NPO 法人ひょうご地域防災サポート隊理事長 糟谷 昌俊 氏	82 人
計		9 地域	821 人

※各々、令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画を報告

④ 健康づくり推進員の設置・養成

ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に「健康づくり推進員支援ガイド」を活用した研修等を実施し、修了者に健康づくり推進員を委嘱した。

・健康づくり推進員 1,445 人（うち、新任者数 168 人） R7.4.1 現在

イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、フォローアップ研修会等を開催した。

【全県】

開催日・場所	内 容	参加人数
9月25日(水) 神戸ポートピアホテル	「がん・結核セミナー」 講演 「なぜ 今 結核」 講師 (公益)結核予防会結核研究所対策支援部保健看護学科長 座間 智子氏 講演 「知っ得！がんに備える知識」 講師 前国際医療福祉大学医学部呼吸器外科教授・東京医科大学外科 客員教授 奥仲 哲弥 氏	201 人
10月3日(木) 神戸ポートピアホテル	講演 「沖縄の長寿世界一は復活するか？」 講師 健康ひょうご21 県民運動推進会議会長 家森 幸男 氏 ランチタイム「沖縄フレンチ」 解説 ポートピアホテル総料理長 岸本 貴彦 氏	40 人
2月7日(金) 兵庫県医師会館	「がん・生活習慣病講演会」 講演Ⅰ「糖尿病ってどんな病気？」 講師 北播磨総合医療センター糖尿病・内分泌内科 大原 毅 氏 講演Ⅱ「地域、職域を問わず 正しいがん検診をすべての人に」 講師 (公財)福井県健康管理協会がん検診事業部長 松田 一夫 氏	170 人
計	3 回	411 人

【地域】

区分	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	11月7日(木) 尼崎商工会議所	講演 「いつまでもおいしく食べるために」 講師 兵庫県歯科医師会理事・養父市国民健康保険大屋 歯科診療所所長 砂治 国隆 氏	52 人

阪神北	12月12日(木) 東りいたみホール中ホール	講演 「腸の若返りが健幸の秘訣」 講師 近畿中央ヤクルト販売(株) 村上 昌子 氏 講演 「口腔細菌叢」 講師 医療法人 IDC いぶき 歯科医院院長 小屋 経寛 氏	50 人
東播磨	11月21日(木) 加古川保健センターマリンガホール	講演 「生活習慣病の予防と治療」 講師 (公財)加古川総合保健センター理事長 中田 邦也 氏	46 人
北播磨	10月31日(木) 小野市うるおい交流館エクラ大会議室	講演 「還暦後の40年、いつまでも元気であるために」 講師 市立加西病院 訪問看護ステーション理学療法士 畠 康博 氏 情報提供 「大人むし歯と歯周病予防」 講師 兵庫県保健医療部健康増進課歯科衛生士 入江 愛子 氏	95 人
中播磨	12月4日(水) 市川町文化センター	情報提供 「冬の食中毒」 講師 中播磨健康福祉事務所所長補佐兼食品薬務衛生課長 馬場 吉平 氏 講演 「食べて元気健康長寿～フレイル予防～」 講師 養父市国民健康保険大屋歯科診療所所長 砂治 國隆 氏	58 人
西播磨	11月13日(水) 太子町文化会館あすかホール	講演 「大切な家族、地域を災害から守ろう～今後予想される南海トラフ地震、最近多発する自然災害に備えて、今あなたにできること～」 講師 NPO 法人ひょうご地域防災サポート隊理事長 糟谷 昌俊 氏	99 人
但馬	10月15日(火) 兵庫県立但馬文教府ふるさと交流館	講演 「フレイル予防と食生活～住み慣れた街でいつまでも～」 講師 武庫川女子大学健康科学総合研究所共同研究員 谷野 永和 氏	57 人
丹波	11月20日(水) 丹波の森公苑	講演 「からだの自己点検評価」 講師 兵庫大学 元・ロコモ研究会顧問・一般社団法人兵庫ロコモ・シニア・寺子屋 徳田 泰伸 氏	69 人
淡路	11月7日(木) 洲本総合庁舎	講演 「健康と体重の気になる関係」 講師 大阪公立大学大学院教授 由田 克士 氏	66 人
合計	9会場		592 人

※各々、健康体操を実施。

ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習など、食の健康運動の推進活動を行った。

内 容	取組件数	延参加人数
健康づくりの普及・実践活動	26,998 件	363,600 人
食の健康運動	2,493 件	58,273 人

⑤ 参画団体の活動支援

健康マイプラン実践講座

健康づくりの講演会や研修会等に登録講師を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
70 回	4,105 人

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

健康づくり推進員の中から「食の健康運動リーダー」を委嘱し、食の健康運動を推進した。

② 食育コンサートの開催

幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り等を通じて、規則正しくバランスのとれた食生活の大切さ、野菜や大豆摂取の重要性などを啓発するとともに、歯みがき指導による歯及び口腔の健康づくりの普及・啓発を実施した。

地 域	開催日	実 施 団 体	参加人数（人）		
			園児等	保護者等	合計
本部	11 月 19 日	神戸市立いかわ幼稚園	41	23	64
阪神北	9 月 6 日	西宮市立夙川幼稚園	150	48	198
阪神北	10 月 1 日	三田虹の子保育園	88	19	107
東播磨	9 月 18 日	高砂市北浜こども園	86	6	92
北播磨	9 月 3 日	加東みらいこども園	170	20	190
北播磨	11 月 15 日	白竜こども園	92	29	121
中播磨	10 月 16 日	姫路保育園	102	14	116
西播磨	10 月 29 日	石海保育園	95	18	113
但 馬	10 月 22 日	やなせこども園	72	14	86
丹 波	10 月 24 日	丹波市健康福祉部子育て支援課	96	104	200
淡 路	11 月 8 日	広田保育園	99	46	145
計		11 回	1,091	341	1,432

(3) からだの健康づくり（県補助事業）

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防及び運動の習慣化を促進するため、今より 10 分多く毎日からだを動かす＋10 分（プラス・テン）、「“脱” 座りすぎ生活」の啓発等を図った。

学習会開催回数	参加人数
17 回	1,739 人

(4) たばこ対策

妊産婦への喫煙防止並びにこども等への受動喫煙防止の啓発、喫煙の影響が大きい COPD（慢性閉塞性肺疾患）やたばこの発がん性に関する正しい知識の

普及を図った。

研修会開催回数	参加人数
14 回	1, 093 人

(5) 歯及び口腔の健康づくり（県委託事業）

各種講演会や啓発資材の配付等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防や歯周病予防、歯の喪失防止に向けた 8020 運動を推進した。

研修会開催回数	参加人数
6 回	470 人

(6) こころの健康づくり

コロナストレスやこころの不調の予防、認知症予防、適切な睡眠促進等のための講座等を実施するとともに、健康ひょうご 21 ポータルサイトにおいて認知症予防に関する情報を掲載した。

分野	実施回数	参加人数
メンタルヘルス等	10 回	711 人
認知症予防関連	15 回	992 人

2 実践支援及び情報発信

(1) 講師派遣による実践支援

市町等が実施する講演会やセミナーに、健康運動指導士、管理栄養士等の専門スタッフを派遣し、健康づくり活動を支援した。

派遣回数	指導延人数
11 回	619 人

(2) 認知症に関する情報発信（県委託事業）

「認知症への正しい理解と備え」についてのリーフレットを作成し、市町、商工会、事業所等を中心に配布し、認知症に関する情報発信を行った。

配布先	配付部数
33 か所	15, 276 部

(3) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

兵庫県と締結した「健康づくり応援協定」に基づき、積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組む「健康づくりチャレンジ企業」に対し、メールマガジンの定期発行（9 回）や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

(4) 親と子の健康づくりの普及推進（母子衛生研究会委託事業）

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、初産予定の夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

- ・開催回数・参加人数 4回 597組
- ・場所 なるお文化ホール

Ⅱ 疾病予防等の普及啓発

1 普及啓発活動の推進

(1) 広報の実施

健康づくりや疾病予防のための知識の向上、人間ドック等健康診断の受診促進を図るため、財団広報誌やホームページ等を活用した広報を行った。

また、県内の団体が発行する会報や機関誌等に、保健・医療情報及び日常生活における健康的な食生活に関する情報を寄稿し、疾病予防や健康づくりの普及・啓発を行った。

① 広報誌「プレベ」の発行

- ・発行 年2回（9月、3月 各9,000部）
- ・配布先 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

② 団体の会報、広報紙等への情報提供

- ・1団体 延べ2回掲載

③ ホームページによる情報発信

スマートフォンにも対応したホームページにより、人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

(2) がん予防の啓発

① がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間（9月）の期間中、懸垂幕や医療機関等でのポスターの掲示、啓発資材の配布等により、広く県民に意識啓発を行った。

② 「がん・結核セミナー」・「がん・生活習慣病講演会」の開催

ア がんセミナー（結核セミナーとの併催）

開催日・場所	内 容	参加人数
9月25日(水) 神戸ポートピア ホテル	講演 「知っ得！がんに備える知識」 講師 前国際医療福祉大学医学部呼吸器外科教授・東京 医科大学外科客員教授 奥仲 哲弥氏	201人

イ がん・生活習慣病講演会（兵庫県医師会と共催）

開催日・場所	内 容	参加人数
2月7日(金) 兵庫県医師会館	講演Ⅰ 「糖尿病ってどんな病気？」 講師 北播磨総合医療センター糖尿病・内分泌内科 大原 毅 氏 講演Ⅱ 「地域、職域を問わず 正しいがん検診をすべての人に」 講師 (公財)福井県健康管理協会がん検診事業部長 松田 一夫 氏	170 人

③ がん征圧寄附金募集活動等による啓発

がん予防のための普及・啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件 数	金 額
234 件	1,477,091 円

④ がん検診啓発及びがん患者支援

ア 「ピンクリボンフェスティバル」に参画し、ちらしやポスター等の配布により、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さについて意識啓発を行った。

イ がん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に協賛し、その活動を支援した。

実施日	会 場	内 容
6月8日(土)～9日(日)	神戸市みなとのもり公園	サバイバーウォーク
9月7日(土)～8日(日)	芦屋市川西体育館	がん予防普及啓発

(3) 結核予防の啓発

① 結核・呼吸器感染症予防週間行事の実施

結核・呼吸器感染症予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核と呼吸器感染症について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等(計12,700部)を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布した。

イ 懸垂幕の掲示等

健康財団荒田事務所に懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

また、阪急神戸三宮駅のデジタルサイネージ広告に加え、財団HP、健康ひょうご21県民運動ポータルサイトを活用した啓発を行った。

ウ 結核セミナーの開催（がんセミナーと併催）

開催日・場所	内 容	参加人数
9月25日(水) 神戸ポートピアホテル	講演 「なぜ 今 結核」 講師 (公益)結核予防会結核研究所対策支援部保 健看護学科長 座間 智子氏	201 人

② 結核征圧寄附金募集活動等による啓発

結核予防のための普及・啓発活動や結核セミナー等を開催するための寄附金を募るとともに、同活動を通じて結核等に理解を深める啓発活動を展開した。

件 数	金 額
161 件	818,500 円

(参考：上記以外に(公財)結核予防会への複十字シール運動募金 175 件 1,176,579 円)

(4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

① がん予防功労者

氏 名	職 種	推薦団体
青山 伸郎	医 師	神戸市中央区医師会
西川 秀文	医 師	尼崎市医師会
西田 稔	臨床検査技師	兵庫県臨床検査技師会

② 結核予防功労者

氏 名	職 種	推薦団体
馬庭 幸二	医 師	兵庫県朝来健康福祉事務所

③ 健康づくり功労者

氏 名	職 種	推薦団体
木村 琢也	医 師	尼崎市医師会
徳好 美三子	一 般	兵庫県民生委員児童委員連合会
藤田 辰幸	歯科医師	兵庫県歯科医師会
増田 一美	歯科衛生士	兵庫県歯科衛生士会

④ 母子保健功労者

氏 名	職 種	推薦団体
岡崎 仁志	医 師	尼崎市医師会
関島 秋男	医 師	加古川市医師会
鳴坂 広美	助産師	兵庫県助産師会
野間 大路	医 師	姫路市医師会
山崎 剛	医 師	伊丹市医師会

(5) 臓器移植の推進

① 臓器提供意思表示の普及（県補助事業）

臓器移植の普及を図るため、啓発資材等を作成し、県民に臓器提供についての意思表示の大切さを呼びかけた。

② 「いのちの勉強会」DVDの作成及び活用（県補助事業）

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発と、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、講演を収録・DVD化し看護系学校（3校）へ貸出した。

テーマ「LIVING WILL」～臓器提供を考える～

③ 臓器移植希望者への支援（県補助事業）

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成（58件 580,000円）した。

④ 骨髄移植及びさい帯血移植の普及推進

骨髄移植の普及を図るため、骨髄ドナー登録啓発資材をドナー登録会等で活用した。

(6) 献血の促進

献血の推進を図るため、啓発資材を献血会場等で活用した。

2 専門的研究の奨励

がん及び腎疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究の進展に寄与するため、研究奨励賞を贈呈した。

① がん研究奨励賞（総額 200万円）

氏名	所属	研究題目
二井 諒子	神戸大学大学院医学研究科	悪性腫瘍に対する新たな免疫細胞療法としてのiPS由来 $\gamma\delta$ T細胞
紙崎 孝基	神戸大学大学院医学研究科	難治がんのフェロトシス抑制機構におけるRifシグナルの解明
喜多 ともみ	神戸大学大学院医学研究科	BRCA2病的variant: Kako_variantの治療戦略の検討
倉田 啓史	神戸大学医学部附属病院	急性白血病におけるアミノアシル tRNAの生物学的意義の解明と新規治療開発
西村 明紘	神戸大学医学部附属病院	独自の新規超高感度プロテオーム解析を駆使した神経芽腫の治療標的の同定

② 腎研究奨励賞（50万円）

氏名	所属	研究題目
市川 裕太	神戸大学医学部附属病院	ネフリン/IgGカクテル抗体を用いた特発性ネフローゼ症候群腎組織の抗ネフリン抗体検出とその有用性の検証
兵頭 俊紀	神戸大学医学部附属病院	ロ微小変化型ネフローゼ症候群における抗nephrin抗体と補体経路の関係

Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

1 健診・検査の実施

(1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断のほか、多様化する受診者ニーズに応じて人間ドック及び胃内視鏡体制を強化し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

(実施団体数 2017 団体)

健 診 種 別			令和 6 年度 (件)	令和 5 年度 (件)	対前年度比 (%)
集団検診	学 校 健 診		518	662	78.2
	住 民 健 診		627	534	117.4
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	160	240	66.7
		定 期 健 康 診 断 等	15,092	15,612	96.7
	小 計		16,397	17,048	96.2
人間ドック	1 泊 2 日 人 間 ド ッ ク		66	86	76.7
	半 日 人 間 ド ッ ク		4,897	5,120	95.6
	兵庫県 2 時間人間ドック		310	306	101.3
	脳 ド ッ ク [再 掲]		(275)	(232)	118.5
	P E T 検 診 [再 掲]		(52)	(8)	650.0
	胃 内 視 鏡 検 査 [再 掲]		(4,341)	(3,871)	112.1
	乳腺超音波検査 [再 掲]		(2,777)	(2,739)	101.4
	口 腔 健 診 [再 掲]		(102)	(64)	159.4
	レディースドック [再 掲]		(356)	(401)	88.8
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診			8,427	8,149	103.4
	一 般 健 診		(7,390)	(7,746)	95.4
	一 般 健 診 + 付 加 健 診		(1,037)	(403)	257.3
小 計			13,700	13,661	100.3
ス ト レ ス チ ェ ッ ク			1,032	1,289	80.1
合 計			31,129	31,998	97.3

注 1)脳ドック～口腔健診は、人間ドックの各コースのオプション検査につき再掲。

注 2)レディースドック（再掲）は、女性専用日を利用した受診者数。

(2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを健診時にあわせて実施した。

① 学校健診（実施校数 56校、3教育委員会）

健 診 種 別	令和6年度(件)	令和5年度(件)	対前年度比(%)
結 核 検 診	25,708	23,699	108.5%
心 臓 検 診	8,794	5,825	151.0%
腎 臓 検 診	21,906	15,046	145.6%
診 察 ・ 身 体 計 測 等	16,305	14,950	109.1%
合 計	72,713	59,520	122.2%

② 住民健診（実施市町数 18市町）

健 診 種 別		令和 6 年度(件)	令和 5 年度(件)	対前年度比(%)
結 核 検 診		62,976	63,551	99.1%
特 定 健 康 診 査 (生活習慣病健診等を含む)		18,885	18,597	101.5%
	心 電 図 検 査	(6,833)	(6,864)	99.5%
	眼 底 検 査	(5,583)	(5,668)	98.5%
	貧 血 検 査	(13,129)	(13,129)	100.0%
胃 が ん 検 診		20,359	21,548	94.5%
肺 が ん 検 診		60,193	60,270	99.9%
大 腸 が ん 検 診		19,201	19,094	100.6%
子 宮 頸 が ん 検 診		13,544	12,923	104.8%
乳がん検診	視 触 診	1,193	1,095	108.9%
	マンモグラフィ	8,929	8,739	102.2%
前 立 腺 が ん 検 診		7,283	7,189	101.3%
骨 粗 鬆 症 検 診		2,278	2,181	104.4%
肝 炎 検 査		1,436	1,387	103.5%
腹 部 超 音 波 検 査		8,212	8,159	100.6%
合 計		224,489	224,733	99.9%

③ 事業所健診（実施団体数 2,026 団体）

健 診 種 別		令和 6 年度(件)	令和 5 年度(件)	対前年度比(%)
定 期 健 康 診 断		109,520	109,291	100.2%
特 定 健 康 診 査		1,425	1,608	88.6%
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		24,922	25,073	99.4%
ス ト レ ス チ ェ ッ ク		44,579	44,923	99.2%
特 殊 健 康 診 断		20,346	20,951	97.1%
がん・追加検診等	胃 が ん 検 診	26,492	29,217	90.7%
	肺 が ん 検 診	22,370	22,113	101.2%
	大 腸 が ん 検 診	62,796	61,455	102.2%
	子 宮 頸 が ん 検 診	1,013	1,078	94.0%
	乳がん検診(マンモグラフィ)	730	558	130.8%
	腹 部 超 音 波 検 査	19,033	12,324	154.4%
合 計		333,226	328,591	101.4%

(3) 一般診療

診 療 科 目	令和 6 年度(件)	令和 5 年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	797	673	118.4%

(4) 先天性代謝異常検査

① 県委託事業

検 査 種 別	令和 6 年度(件)	令和 5 年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	22,496	22,800	98.7%
T S H(クレチン症)検査	22,235	22,484	98.9%

② その他

検 査 種 別	令和 6 年度(件)	令和 5 年度(件)	対前年度比(%)
拡大新生児マススクリーニング検査 (ライソゾーム病ほか計 7 疾患)	5,775	0	-%

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員（全体）研修会・職種別分科会	2 回	712 人
医師研修会	1 回	27 人

イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。

開催日	内 容	参加人数
12 月 14 日	マンモグラフィ専門委員会	16 人
1 月 25 日	生理機能検査（心電図）専門委員会	6 人
2 月 1 日	胃部エックス線画像専門委員会	19 人
2 月 29 日	胸部エックス線画像専門委員会	18 人
合 計		59 人

ウ 外部精度管理評価の維持

日本医師会等による外部精度管理調査を受審し、精度の維持・向上を図るとともに、第三者機関による施設認定（「労働衛生サービス機能評価」更新）の維持に努めた。

② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	・ 事故内容の分析 ・ 事故防止対策の検討・提案等	12 回
リスクマネジメント実践担当者会議	・ ヒヤリ・ハット事例の分析 ・ 事故防止対策の検討・提案等	12 回

③ 情報処理体制の適正な管理と強化

健診等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

④ プライバシーマークの運用・維持

セキュリティレベルの向上を図りつつ、個人情報の漏洩防止に組織的に取り組み、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が付与する個人情報保護に関する認定制度「プライバシーマーク」の維持に努めた。

（6）計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく検診車及び医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

【主な整備内容】

・ 胸部デジタル検診車	1 台
・ 超音波画像診断装置	1 台

・心電計・・・・・・・・・・・・・・・・	1 台
・読影用パソコン・・・・・・・・・・	2 式
・健診用補助車両・・・・・・・・・・	1 台

2 保健指導の実施

(1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康維持のためのセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を、健診当日・事業所訪問・遠隔面接で実施した。

支援別実施実人数

	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比
動機付け支援	583 人	656 人	88.9%
積極的支援	657 人	573 人	114.7%
合 計	1,240 人	1,229 人	100.9%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

(2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、健診当日に医師の指示に基づき生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、生活習慣病重症化ハイリスク者や精密検査対象者を受療行動に移させるために受診勧奨等きめ細かなアドバイスを行い、更に、健康相談を希望する者には個別健康相談を実施した。

また、保健指導の WEB 予約を財団ホームページから受付し、健診結果の見方の説明や健診結果改善のための運動や食生活などの実践的な指導を個別面接や遠隔面接で行った。

	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比
実施実人数	1,701 人	1,588 人	107.1%

3 健康増進施設の運営

(1) 五色県民健康村健康道場の運営

絶食・低カロリー食療法、性格分析、丹田呼吸法、カウンセリング等を通じて、生活習慣病の予防・改善を図り、県民のこころと身体健康づくりを支援した。

ホームページの活用やメール、インスタグラム及びフェイスブック等による広報を行ったほか、心身医学の講座やリピーター割引クーポン券の発行、年末・年始営業の実施により、利用者の確保に努めた。

① 絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	令和6年度	令和5年度	対前年度比
利用者数	504人	587人	85.9%
延宿泊者数	2,797人	3,325人	84.1%
平均宿泊日数	5.5日	5.7日	96.5%

② 利用促進施策の実施

ア 健康医学としての心身医学の講義

インターネットや道場内で講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

イ リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に30%割引となるクーポン券を1人につき2枚発行した。

- ・発行枚数 988枚
- ・利用枚数 261枚

ウ 年末・年始営業

- ・営業日 12月29日～翌年1月3日
- ・期間中の利用者数

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
入所者数	30人	23人	130.4%
延宿泊者数	194人	159人	122.0%

※延宿泊者数は、年末年始前後の期間に宿泊した日数を含む。

4 調査研究事業の推進

(1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

- ・発行部数 200部
- ・配布先 行政機関、医療関係団体他

(2) がん登録事業（県委託事業）

① がん罹患情報等の審査・整理・登録

県内医療機関等から届出されたがん罹患情報等の審査・整理・登録を行い、兵庫県のがん対策の企画立案及び評価の基礎資料として活用を図った。

【全国がん登録】

- ・届出(登録)件数 68,762 件
- ・届出医療機関数 195 機関
- ・遡り調査登録件数 998 件

② 全国がん登録実務者研修会の開催

県内の病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象として全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」をオンラインにより開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
9月20日(金) ～10月31日(木) オンライン配信	「令和6年度 全国がん登録実務者研修会」 ・講演「全国がん登録の届出実務～登録時のポイントと演習」 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター長 松田 智大 氏	視聴回数 204 回

③ がん罹患報告書の作成

全国がん登録の報告書「兵庫県のがん 2020」を作成し、がん罹患及び死亡の状況等について発信した。

- ・発行部数 600 部（令和7年3月発行）